

栃木県立鹿沼高等学校 卓球部 の活動方針及び年間活動計画等

顧問名	森田英雄 齋藤信行 高久裕一	
目標	○ 実施にあたっては、生徒の安全を第一に考えて実施し、生徒の自主性・自立性を大切にする。 ○ 怪我等の防止に努めるとともに、生徒自身の安全意識や自己管理能力の向上を目指す。 ○ 出場する各大会において目標を定め、目標達成に向けてチーム・個人が努力する。 ○ 活動を通じて心身を鍛え、充実した学校生活を送ろうとする主体的な態度を養うとともに、生徒の学習意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感の育成を目指す。 ○ 部員全員の学業成績の向上を目指す。	
活動方針	○ 生徒の健康管理に十分に配慮し、適正な休養日を確保する。 ○ 学校生活や授業等に支障のない範囲で、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。 ○ 普段の活動を通じて、生徒の技術・競技力の向上を図るとともに、生徒間や生徒と教師等の望ましい人間関係の構築を目指す。 ○ 怪我の予防や応急処置、熱中症予防等に対する基本的な知識を身に付け、実践する。	
休養日	○ 原則として毎週日曜日を休養日とし、日曜日の休養日が確保できなかった場合は、翌週の前半に休養日を設ける。 ○ また、平日においても生徒のコンディション等を考慮し、適宜、設ける。 ○ 長期休業中も、学期中に準じた扱いとする。 ○ 8/12～8/16、12/29～1/3は、オフシーズンとする。	
活動時間	○ 一日の活動時間は、平日は2時間程度として18時30分終了、19時には完全下校。休業日の活動は3時間程度とする。 ○ 定期試験初日の1週間前から定期試験実施期間（最終日を除く）は原則として活動を行わない。ただし、当該期間においても、大会等参加の場合は、校長の承認を得て活動を実施することもある。	
月	参加予定大会等	その他
4	○ 20(火)・23(金) 県総体兼関東大会中部支部予選	
5	○ 1(土)～3(月) 県総体兼関東大会県予選 ○ 28(金)・29(土) 全国総体中部支部予選	
6	○ 17(木)～19(土) 全国総体県予選	
7	○ 10(土) 国体少年の部県予選	
8		
9	○ 5(日) 全日本選手権ジュニアの部県予選	
10		
11	○ 2(火)・3(水)・12(金)・13(土) 県新人大会	
12	○ 4(土)・5(日) 東京選手権ジュニアの部県予選	
1	○ 10(月) 全国選抜大会県予選 ○ 28(金)・30(日) 中部支部新人大会	
2		
3		